

光といのち

第92号

2015年1月1日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺

〒299-2214

千葉県南房総市二部1344

電話 0470-57-2657

FAX 0470-57-2290

Eメールino-teyy@khaki.plala.or.jp

謹賀新年

新しい年がスタートしました。心機一転「今年こそは」と、希望に満ちている方も「そうでもない」という方も、いらつしやることでしょうか。心の有り様は人それぞれですし、それは移ろいやすいものです。

題字下に「ゴールが定まるところに、実は、喜びがある」とあります。各人には各様の「ゴール(目標)」がありますが、すべての人に共通している「人生のゴール」、そこからの眼差しを与えてくれるのが仏教です。

「人生のゴールが定まるところに、実は、真(ほんとう)の喜びがある」とも言えます。念仏申す生活は、老いてますます心が豊になる生活です。

ゴールが

定まるところに

実は、喜びがある。

小川一乗



修正会の荘厳

修正会

ご家族で

お参りください。

一月二日(金)

十時〜十一時半

勤行後に法話があります。

真宗門徒の生活実践

念仏申す生活を

礼拝(らいはい)の生活

毎日欠かさずご本尊に直面しよう。お内仏のお荘厳を整え、お給仕を正しくしよう。

正信偈をおつとめし、教えの言葉に触れよう。

新しく家庭をもつたら、必ずご本尊をお迎えしよう。

聞法(もんぼう)の生活

念仏の教えを聞き、同朋を見いだそう。

月に一度は法座に参加しよう。報恩講をはじめ、お寺の行事に積極的に参加しよう。

正信(しょうしん)の生活

迷信に惑う私を解放しよう。念仏をよりどころとして生きる道を聞き開き、占いや霊信仰と訣別(けつべつ)しよう。帰敬式を受け法名をいただき、真宗門徒として歩みはじめよう。

教化実践四項目

- 一 お内仏に正しいご本尊を安置し、お荘厳を正しくしよう。
- 二 塔婆を建てることはやめよう。
- 三 位牌を廃し、法名軸に改めよう。
- 四 法名に信士・居士などの位号をつけるのはやめよう。

報恩講(十一月十五日)

「報恩講は、浄土真宗を開いた親鸞聖人の恩徳を讃え、お念仏を次の世代に伝えていく大切な法要です」と、ご案内しました。100人を超える方々がお越しくださいました。

写真は、感話をしてくださった西山三保子さんと田中嘉一さんです。

左側の写真は、三橋尚伸先が、ご法話をなさっているところです。

御懇志は、なんと参列者より多い153人の方から712000円お寄せいただきました。

前回の剰余金で購入した写真に見えるエビ茶色の門徒章を、今回参列した方に差し上げました。

この度の剰余金は、265442円あります。本年もそれを購入し、報恩講などの法要に参列した、まだお持ちでない方に差し上げたいと思います。

念珠を持ち門徒章をかけることを、習慣としてもらいたいです。



西山三保子さん、田中嘉一さんの感話をいただきました。有り難うございました。

子どもたちから元気をもらいませんか

みな様こんにちは。私は西山三保子と申します。鴨川に住みまして20年になります。本日は勝善寺さんとの縁を三分ほどお話しさせていただきます。

平成14年に主人が前立腺ガンの末期状態だと宣告された時、「あ、お寺さんは？」と、私たちの頭をよぎりました。それから主人と二人でお寺を探して歩きました。色々尽くして探し当てましたのがこちらの勝善寺さんでした。お寺が決まった時、私は何かホツとしたことを思い出します。

その主人は平成18年に亡くなりました。そして、それから私の一人歩きがはじまりました。

同朋の会という聞法会がありましたので、私は、それに入れていただきまして、「正信偈」の教えを受けておりました。ある時、「お茶を点て欲しい」というお話がそこで出ました。私一人ではとても無理です。同朋の会のお仲間にお手伝いをいただき、一年に一度お茶を点てることになりました。同朋の

会のお仲間には、ほんとうにいつも感謝いたしております。

平成24年の4月に「花まつり」が立ち上がりました。何かお手伝いができないかなと考え、簡単なお茶の道具を持って参りまして準備をしておりましたところ、いきなり子どもたちがドツと入って参りました。そして畳にきちつと正座をしまして、身を乗り出して目を輝やかせておりました。とつても感動的でした。私は、かえって子どもたちから元気をいただいたのです。それで、「ああ、この子どもたちに何かお手伝いができないかな」と思いました。

私にできることはお茶の体験をさせてあげること、それしかございません。いつまでできるかわかりませんが、続けていきたいと思っております。

みな様も、ぜひお出かけくださいませ。お気軽に。そして子どもたちから元気をもらいませんか。お御足の悪い方には椅子も用意いたします。どうぞどうぞお出かけくださいませ。お待ち申し上げております。4月はすぐに参ります。みな様お元気で。またお目にかかるのを楽しみにしております。

つたない話しをお聞きくださり、ありがとうございました。

皆さんが集まる場所、勝善寺

みなさん、こんにちは。私は二部の田中嘉一と申します。住職から「正信偈」のお勤めを始めたわけを話してほしいということ、ことわったんですけれども、どうしてもやつてほしいと。ダメだダメだ、今はやりの文句で「ダメよくダメダメ」と言ったんですよ。それは冗談だけどもね。どうしてもということだったので、引き受けたわけでございます。

十数年前ですかねえ。女房と相談しまして仏壇を購入することになったわけでございます。別にどうってことないですけどね。それで購入したわけですけど、立派でさ、どうして拝んで良いかわからなくて、住職にお願いして教わったんですね。

教わってもなかなかうまくいかねんですね。そうしたら住職が「毎日お勤めすれば上手になるよ」と言うんで、毎日やったんですけど、なかなか上手くいかねんですね。ある時「正信偈」のお勤めしてましたら、女房が後の方で洗濯物を干していたんですけど、笑うんですよ。下手だから。悔しかったんですけど、どうしようもないですね。下手だから。

それでも毎日お勤めを続けていると、ある時お勤めが終わってひよいと後ろを見ると孫が3人ちよこ

んと座つていんですね。三人とも。「こりゃーいいなあ！」と感激したです。それで「いっしょにやろうか」と言つたんですけれど「おじいさん、やらない」と言うんですね。それで女房に聞いたら「じいちゃんより孫の方が上手いや」と言うんですね。あれには参りましたね。

そう言つた女房も、三年前に68歳で他界しました。この秋、稲刈りが終わって掛け乾しをつっかけていたら自然と、「正信偈」が出てきたんですねえ。「帰命無量寿如来・・・」と、でかい声で。

そうしたら娘が「お父さん、気持ち悪いからやめてよ」と言うんですね。

だけどやめるわけにいかねんですからね。せつかく始めたもんですからねえ。それでずうつと最後までやりましてねえ・・・。

毎日かかさずお勤めしていますけど、これが得か損かわかりません。けど、私はいいいじゃねえかと思えますね。声がでますよ。だからみなさんも、ぜひやってください。

そこで一句作りました。「皆さんが集まる場所、勝善寺」。

終わります。

報恩講を支えた方々

仏具のお磨き



11月10日（月）花瓶や燭台など真鍮の仏具を磨きました。

足達 崇 金木庸一 川名信之
 川名喜昭 久保賢祐 桜井朋子
 重田澄子 田中昭一 谷 英郎
 田村晋一 富澤真知子 臚居政男
 中川克子 中山郁夫 西山三保子
 蓮沼美栄 姫松信子 増田征夫
 三堀 清 山川邦子 山辺辰雄
 吉田 誠 坊守 住職

前日の準備



11月14日（金）準備を終え、速夜法要を勤めました。

青木敏夫 明石圭司 明石義久
 足達 崇 石井和夫 狩野平造
 川名ふじ子 田村徹夫 富永昇一
 中山郁夫 能重初雄 能重 隆
 増田征夫 吉本行男 坊守
 副住職 住職
お斎（食事）係
 前日 川名登支江 重田澄子
 当日 大胡いつ子 高梨和子
 田村喜代子

当日役割

司会進行 金木庸一
 受付・誘導係
 醍醐祐子 醍醐敏明 田中昭一
 堀海栄子 吉田 誠
 御懇志係 朝倉和利 田村晋一
 幕張・駐車場係
 石井和夫 重田和夫 久保田勇
 高梨維夫 高梨和一 富永昇一
 能重初雄 長谷川登 廣嶋敏雄
 参拝者搬送 明石圭司 重田和夫
 椅子机搬送 明石圭司
 青木敏夫 明石圭司 明石義久
 足達 崇 能重初雄
 写真撮影 足達 崇
 慰労会進行役 田中昭一



法要法 話の後に、お斎になります。写真は、すまし汁の準備をしているところですよ。
 おかげさまで、無事に報恩講をお勤めすることができました。有り難うございました。

行事予定

1月2日 10時〜 修正会
 1月8日 9時〜 八日講十日講
 1月14日 親鸞教室
 2月8日 14時〜 同朋の会
 3月9日 親鸞教室
 3月21日 10時〜 春彼岸会
 4月5日 13時30分〜 花まつり
 5月10日 14時〜 同朋の会
 5月21日 親鸞教室
 6月7日 9時〜 八日講十日講
 6月12日 婦人研修会
 6月14日 14時〜 同朋の会
 6月17日 親鸞教室
 6月28日 8時30分〜 奉仕作業
 ※・・・以外は当寺が会場です。

「喪中欠礼」について
 十二月になると、死を穢れとする考え方から「喪中につき新年のご挨拶を欠礼させていただきます」という葉書が届きます。
 仏教徒には、命終した近親者を「穢れ」とする考えはありません。そもそも「喪に服す」とは、どのようなことなのでしょうか？